

学校だより

大津市立葛川小中学校

平成27年7月号

一学期を終えて



四月は5名の小学生、4名の中学生の入学から始まりました。昨年と比べると、たくさんの入学生を迎えたという印象が強かったです。さらに、中学校の方では、転入生2名もあり、児童生徒数とその分増え、学校が活気付くなという予感がしていました。

予想通り、1週間も経たないうちに子どもたちの賑やかな声が響き渡るようになりました。

今年は中学生が元気でのびのびしている感じが印象的です。新しく転入生を迎えたことと人数が増えたことによる効果が手に取るようにわかります。小中合同授業や各種行事でも、中学生がリーダーシップを発揮して取り組んでくれています。中学生のその姿を見て、小学生が学ぶことは多々あります。異年齢の子どもたち同士の中で、このように『学び合い』をすることは、他の学校ではなかなか難しくなっているようです。異年齢集団による各種取り組みこそ、本校の宝物であり、大きな教育効果の源であります。

二学期は、運動会や紅葉祭などビッグイベントが控えています。小中学校が「チーム葛川」となって見応えのある行事にしていきたいと思います。どうか、今後とも皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



実り多き「ふるさと体験学習」

3・4年生は、6月17日から1泊2日のふるさと体験学習を行いました。宿泊地は地元の葛川少年自然の家ですが、この年齢の児童が親元を離れ、思いっきり自然を満喫し、また、共同で野外炊事を行うなど寝食を共にすることは、児童の自立と自主性を育てるのに大変意義深いものがあります。三の滝まで上り坂をどんどん歩いて行くと、シーボルトミミズ、巨大なカタツムリなどいろんな生き物に出会いました。三の滝は、相応和尚が、不動明王を体得されたところで、勢いのある雄大な滝に吸い込ま



れそうになりました。帰り道は、途中から明王谷の河原に入り、大きな石や倒木のある中、水の流れを読みながら注意深く足を運び、手も使い3点歩行で神経を集中して下って

がありました。夜には大勢の小中の教職員の特別参加があり、キャンプファイヤーで盛り上がりました。これぞ、葛川小中学校という雰囲気いっぱいでした。翌日の野外炊事では、教師は待ちの姿勢に徹し、子どもたちの自主性を見守り、見届けるスタンスでいると、それに答えるように、子どもたちはてきぱきと行動し、頼もしさを感じました。

合同あいさつ運動実施

今年も「合同あいさつ運動」が、7月1日(水)に葛川小学校玄関前で実施されました。小雨の降る中ではありましたが、PTA会長はじめ地域の役員の方々が大勢来ていただき、スクールバスから降りてくる児童生徒にあいさつを交わしながら、啓発のティッシュを渡していただきました。恒例のあいさつ運動ですが、地域の人とあいさつする児童生徒の表情から、普段から子どもたちが地域で自然にあいさつをしていることが伺われました。とても微笑ましい光景でした。



小中合同授業研究会

子どもたちに「生きる力」としての学力を身につけさせることは、学校の大きな使命であります。これからの社会では、今まで以上に世界中のさまざまなことによくも悪くも大きな影響を受けながら、自立して生きていかなければなりません。そのためには、しっかりと自分で考え、判断し、自分の思いを相手に伝える必要がでてきます。葛川小中学校では、昨年度より「協同的な学び」を通して、子どもたちの学びを深める研究を進めています。小中学校の教員が、それぞれ一年に1回以上研究授業を行い、お互いの授業力を高め、子どもたちの思考力、判断力、表現力を伸ばそうと取り組んでいます。先日(7/7)は、中学一年生の理科の授業に、「学びの共同体」スーパーバイザーの倉知雪春先生を講師として招聘し、ご指導をいただきました。



お知らせ

8月10日(月)～16日(日)の7日間は、**学校閉校日**とします。

この間の緊急連絡は以下にお願いします。
大津市教育委員会学校教育課 (077-528-2633)
ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。